

ボタン一つで子育て?

私たちの生活から切ることのできないコンピューター。今では、身の回りのほとんどの機器に組み込まれています。

近い将来、実現するといわれるユニピタスネットワーク社会（いつでも、どこでも、誰でもネットワークにアクセスして、サービスを受けられる社会）では、自分の携帯電話や外出先のパソコンからインターネットを通じて、照明からエアコンなどまで遠隔操作ができるようになるようです。

今では、行楽地などの混雑状況をパソコンで確認できるし、自分の子どもの居場所を携帯電話で確認したり、保育園・幼稚園での様子も携帯端末で分かるようにしている施設もあるようです。

コンピューターだけでなく家庭の電化製品や、育児・介護に掛かる製品にも技術進歩は、目覚ましいものがあります。

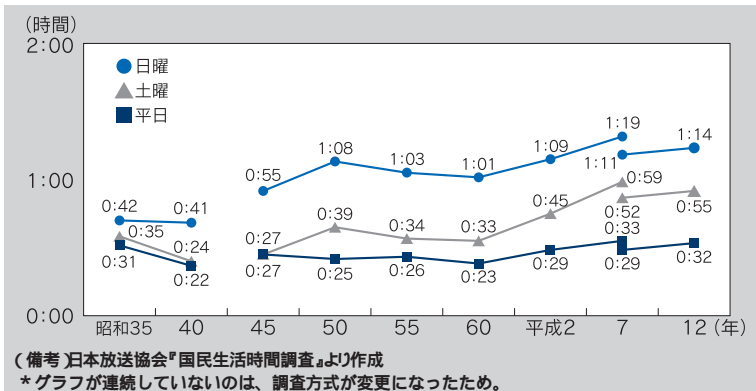
ひょっとして将来、育児をしてくれるロボットが開発され、携帯から遠隔操作ができるようになるかもしれません。でも、うれしかったり、

心配したり、悲しかった思い出は、体験しなければ思い出せません。

左の表では、土曜・日曜・平日に、男性が家事に携わる時間の推移を表したものです。どういった家事を男性がしているかは、家庭の事情で違ふと思いますが、少しずつ時間は、増えているようです。

ボタン一つで、何でもできる時代が来ても、その技術を上手に使用えば、ボタンのいらぬ家族と触れ合う時間が増やせるのではないのでしょうか。

男性の家事時間の時系列変化（3曜日、全員平均時間）



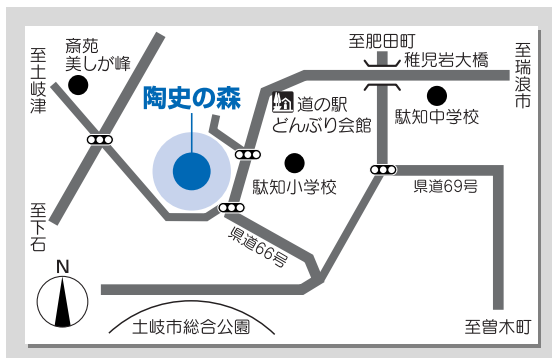
陶史の森は、土岐市の中央丘陵地帯の森林を岐阜県と土岐市が活用し整備した「生活環境保全林」で、昭和47年に造成を始め、昭和50年にオープンしました。その後、幾多の保安林整備や施設整備を重ね、施設の充実を図っています。特に、平成元年から2年間「土岐いきものふれあいの里」として、陶史の森104haの内、14.5haを環境庁および岐阜県の補助事業により整備し、なお一層の充実を図っています。

自然と人間との触れ合いの必要性が叫ばれる今日、自然と親しみながら、明日への生活の活力を養う憩いの広場として、また、自然や昆虫の観察・小動物とのふれあいを通じた自然教育の場として、多くの皆さんに利用されています。

◆施設内容

ネイチャーセンター、禽舎（鳥園）、羊牧場、蝶の館、ウッティードーム、いこいの広場（ローラー滑り台・船型アスレチックなど）、野鳥観察小屋、バーベキュー広場、遊歩道

詳しくは、ネイチャーセンター(☎595144)へ。



施設紹介

第10回

陶史の森

